ソフトカーム

東邦亜鉛株式会社ソフトカーム事業部

# 取扱説明書

●アルミ製放射線防護扉(ALD タイプ(開き戸))

●アルミ製放射線防護覗窓(ALW タイプ)

このたびは、ソフトカーム製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。
この建具は、重量のある建具ですので、運搬、保管、取付の際は、本書要領に従い取扱いにご注意願います。

## ①運搬・保管について

○運送
平積みとし、上に重量物を載せないで下さい

○荷降し
枠に扉を設置した状態で梱包してあります。梱包状態での移動・荷降しについては、フォークリフトまたは4～6人程度でゆっくり手降し願います。

※梱包状態の重量　　片開きの場合:約 130kg、親子開きの場合:約 190kg

※枠から扉を外す場合は、ピボットヒンジの軸を緩めて(4 ぺージご参照)から扉を外してください。扉は重量が大きいため、指挟みなど十分ご注意願います。

○場内運搬
重量のある建具の為、開梱後の運搬時に製品に傷やへこみが付きやすいため、持ち運びや保管には十分ご注意願います。

※開梱後に発生した製品の傷やへこみについては保証いたしかねますので予めご了解願います。

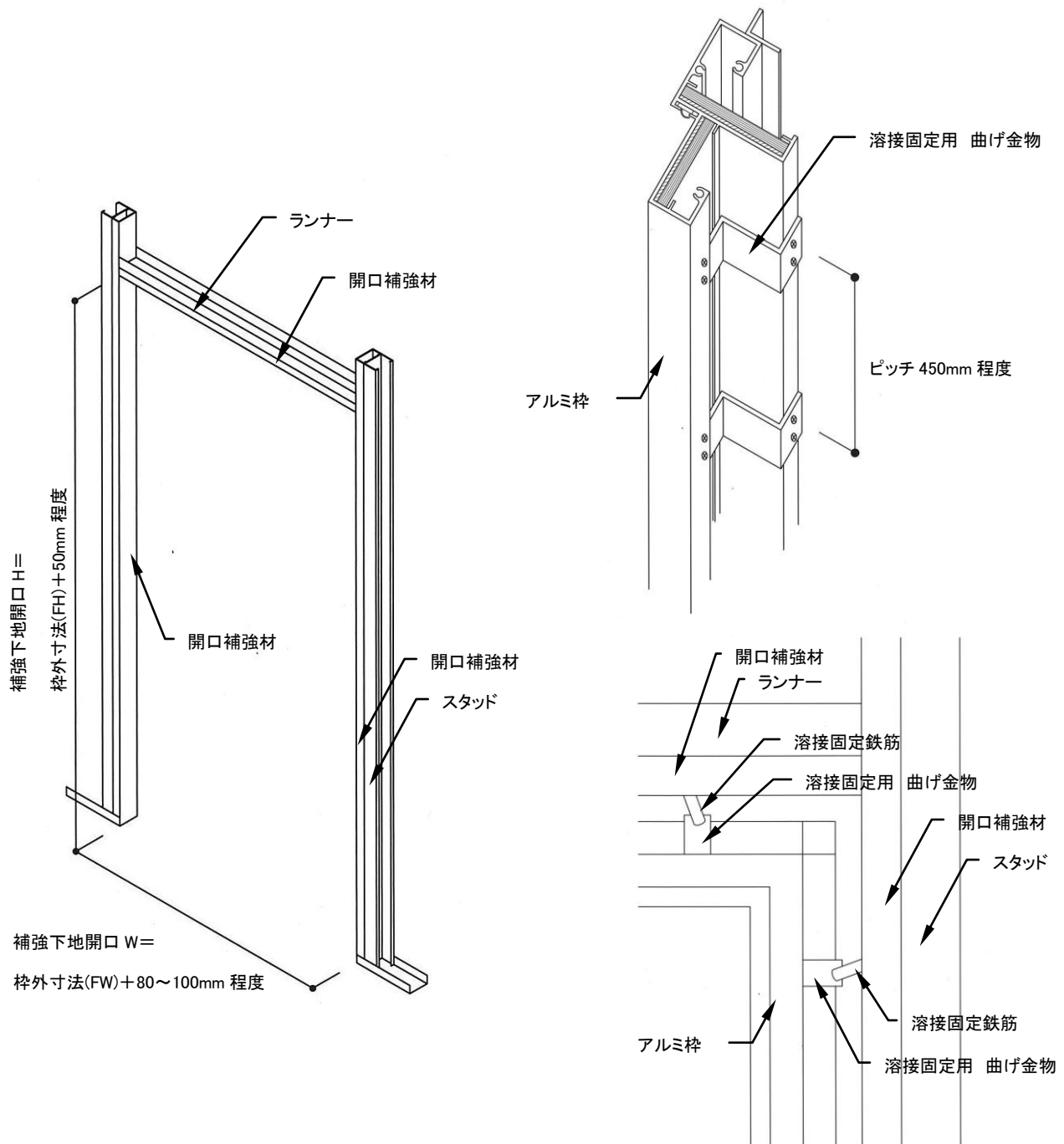
※扉や枠を壁面等に立て掛けて保管した場合、反り・歪みの発生や転倒・破損等の事故発生が考えられますので、行わない様ご注意下さい。

## ②取付施工について

### 2-1 枠の取付(LGS 下地-溶接固定の場合)

〇開口部の幅および高さ寸法を、下図を参考に確保してください。
※重量がある扉ですので下地補強を確実に行ってください。(補強材が無い場合や不十分な場合、扉開閉時に枠の歪みや、扉が枠に当たり閉まらない等の影響が発生する場合があります)

〇水準器や下げ振りを使用して、枠の水平・垂直(左右の傾き)、倒れ(前後の傾き)、枠の湾曲、ねじれ等が無いようにくさび等で位置を確定してから、枠に固定されている溶接用曲げ金物および開口補強材と鉄筋とを溶接固定してください。

〇溶接後、錆止め塗料を溶接部に塗布してください。
〇壁厚に応じて、木額縁を準備・取付け願います(枠見込寸法:標準=100mm となっております)。

2-2 枠の取付(木下地-ビス固定の場合)

〇同梱の「固定バンド」をバンド固定ネジで枠の下孔部に取付けてください。

※溶接固定用の曲げ金物が枠へ取付けてある場合は、外してから「固定バンド」を取付けてください。

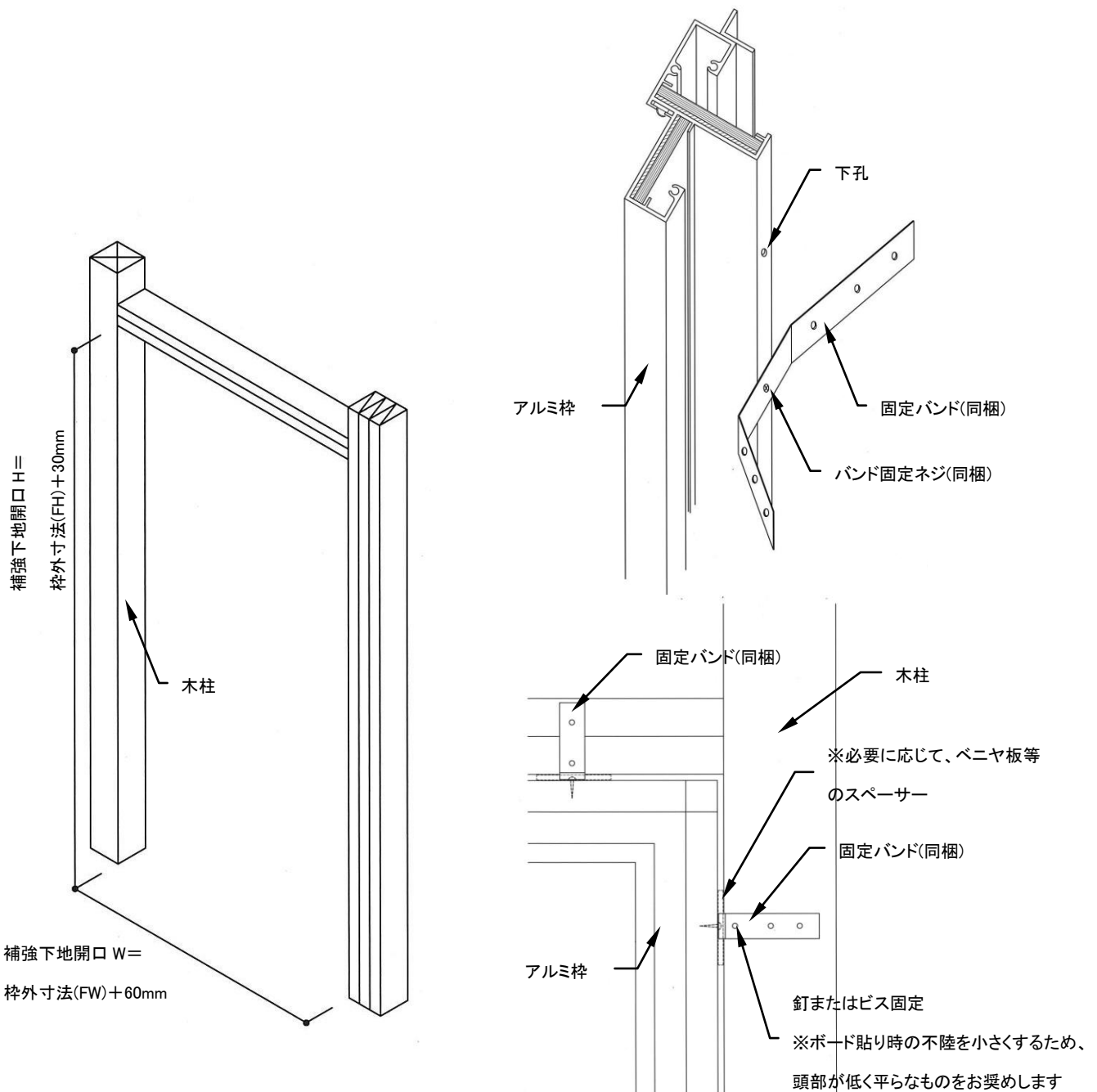
〇開口部の幅および高さ寸法を、下図を参考に確保してください。

※重量がある扉ですので下地補強を確実に行ってください。(下地材がねじれたり動いたりすると、扉開閉時に枠の歪みや、扉が枠に当たり閉まらない等の影響が発生する場合があります)

〇水準器や下げ振りを使用して、枠の水平・垂直(左右の傾き)、倒れ(前後の傾き)、枠の湾曲、ねじれ等が無いように位置を確定してから、枠に固定されている固定バンドを開口下地に釘またはビスで固定してください。

※必要に応じて、ベニヤ板などをスペーサーとして固定バンドと開口下地との間に挟みこんでから固定してください。

※バンドが緩むと扉開閉時に枠の歪みや、扉が枠に当たり閉まらない等の影響が発生する可能性がありますので確実に固定願います

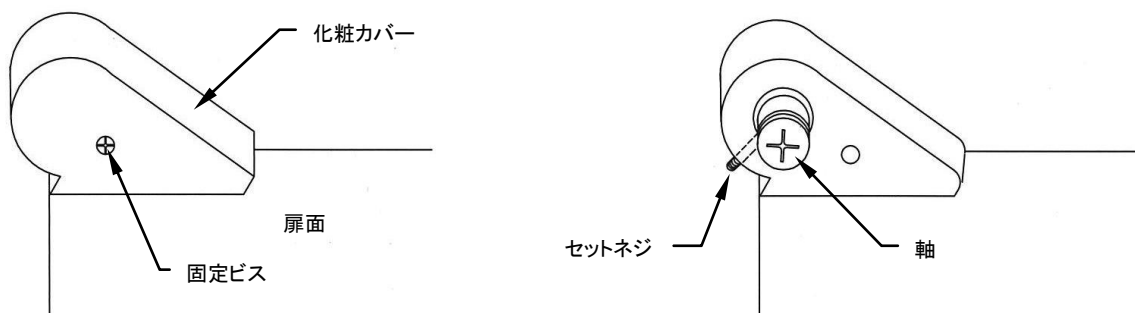
〇壁厚に応じて、木額縁を準備・取付け願います(枠見込寸法：標準=100mm となっております)。

※下地開口寸法が上記より大きすぎない様、ご注意願います。

2-3 扉の吊り込み

〇枠の固定後、扉を吊り込みます(ピボットヒンジ仕様)。

上部のピボットヒンジの軸の緩め方

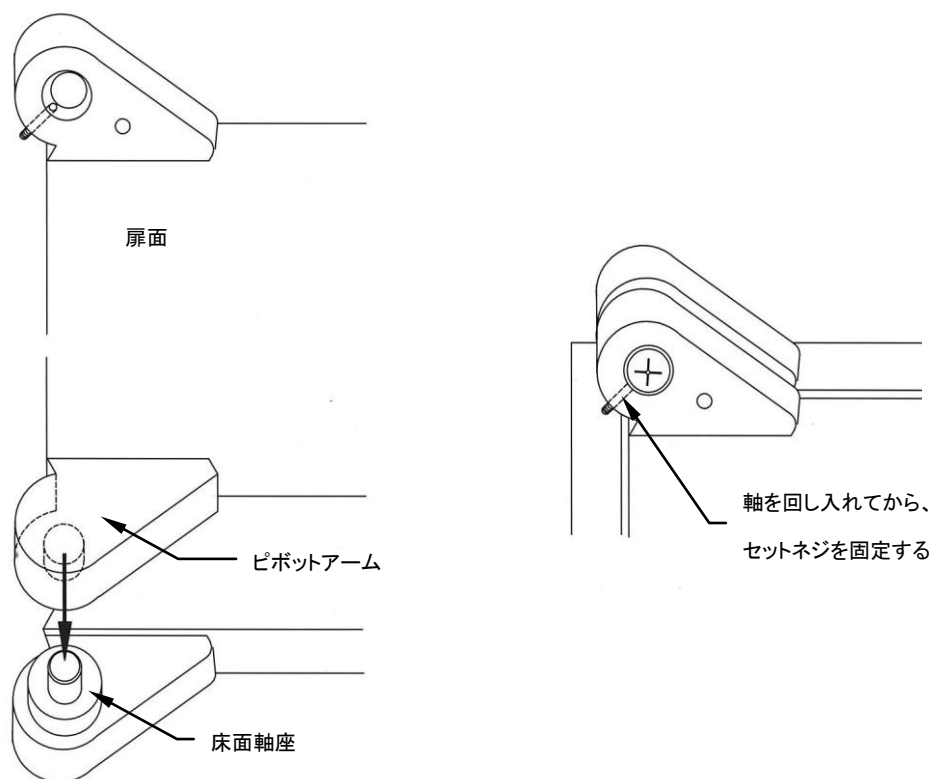
・扉側の上部のトップピボットの中央部にあるビスをドライバーで外し、化粧カバーをはずします。

・セットネジを緩めて軸をまわし下側へはずします

・扉を持ち上げ、枠の下側にある床面軸座の軸を扉側の下部のピボットアームの受け穴に入れます

　※重量のある扉ですので、2 人以上で作業を行い、足元への落下や指はさみに十分ご注意願います。

・扉側と枠側の上部トップピボットの軸位置を合わせて、軸を回し入れます。

・完全に軸が入った状態で、セットネジ(軸の抜け止め)を必ず締めこんで固定して下さい。

・最初にはずした化粧カバーを取付けます。

※扉のピボットヒンジは、吊込調整をした位置に固定してありますので外さないでください。

## 2-4 枠周囲の鉛板の取付

〇枠に同梱の鉛板をビスで取付けます

ロール状の鉛板をのばし、図のように鉛板を枠の内部まで差し込み、枠と鉛板とをドリルねじ(同梱品:ピッチ@約 400mm 程度)で固定します。鉛板は、X 線室側に固定します。壁の鉛複合板と十分に重なるように取付けてください。鉛板は、当て木等でならして取付けて下さい。

※鉛板の重なりが不十分な場合、漏洩の発生が予想されるため、十分にご確認願います。

※下図は LGS 下地を示しますが、木下地の場合も同様に、枠及び壁の鉛複合板と十分に重なるように枠周囲の鉛板を取付願います。

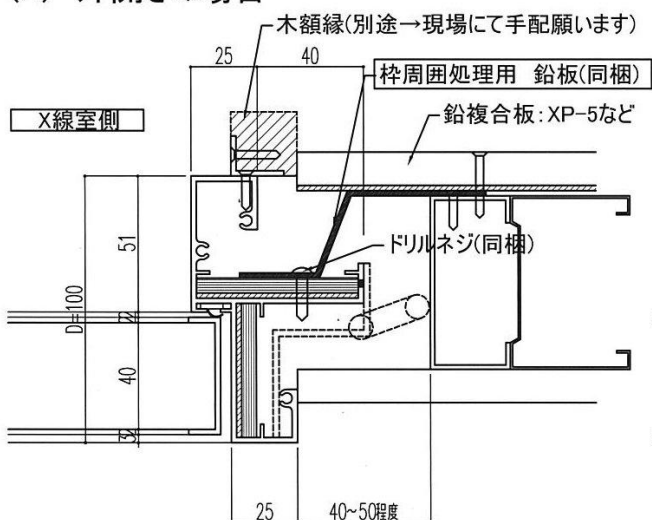
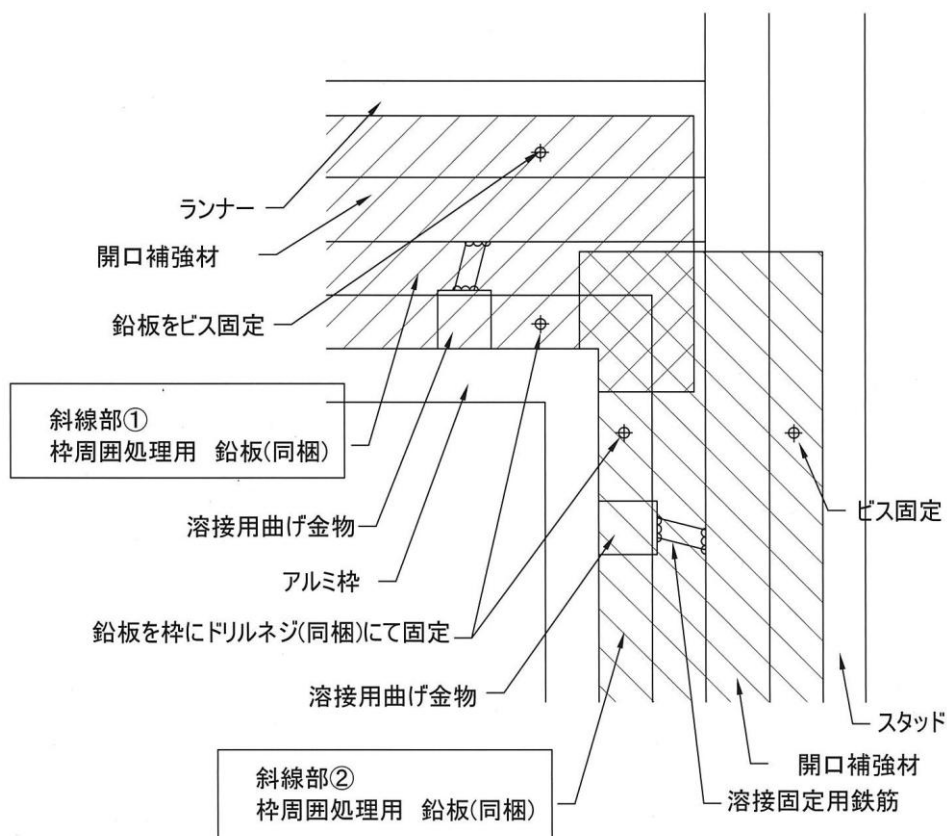
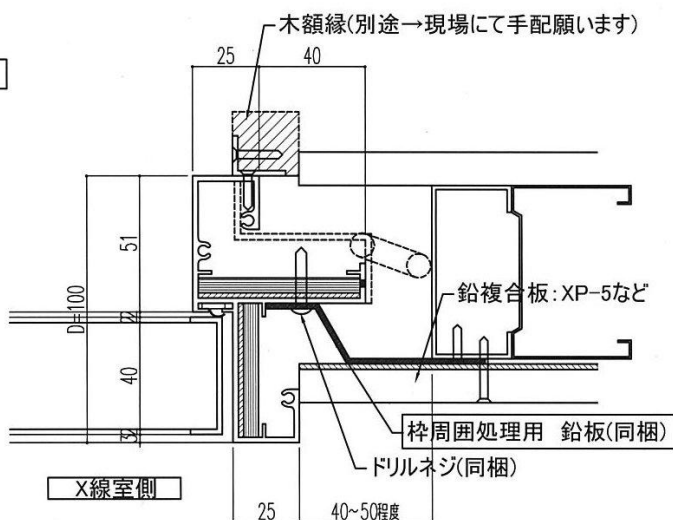
(A) 外開きの場合

木額縁(別途→現場にて手配願います)
25 40
枠周囲処理用 鉛板(同梱)
X線室側
鉛複合板:XP-5など
51
D=100
40
ドリルネジ(同梱)
25 40~50程度

(B) 内開きの場合

木額縁(別途→現場にて手配願います)
25 40
51
D=100
40
鉛複合板:XP-5など
枠周囲処理用 鉛板(同梱)
ドリルネジ(同梱)
X線室側
25 40~50程度

2-5 含鉛ガラスの取付

<ALD-2 タイプ(片開覗窓付)の場合>

含鉛ガラス(LX プレミアム)の厚さをご確認下さい(鉛 1.5mm 当量→ガラス厚 t=12mm、鉛 2.0mm 当量→ガラス厚 t=14mm)

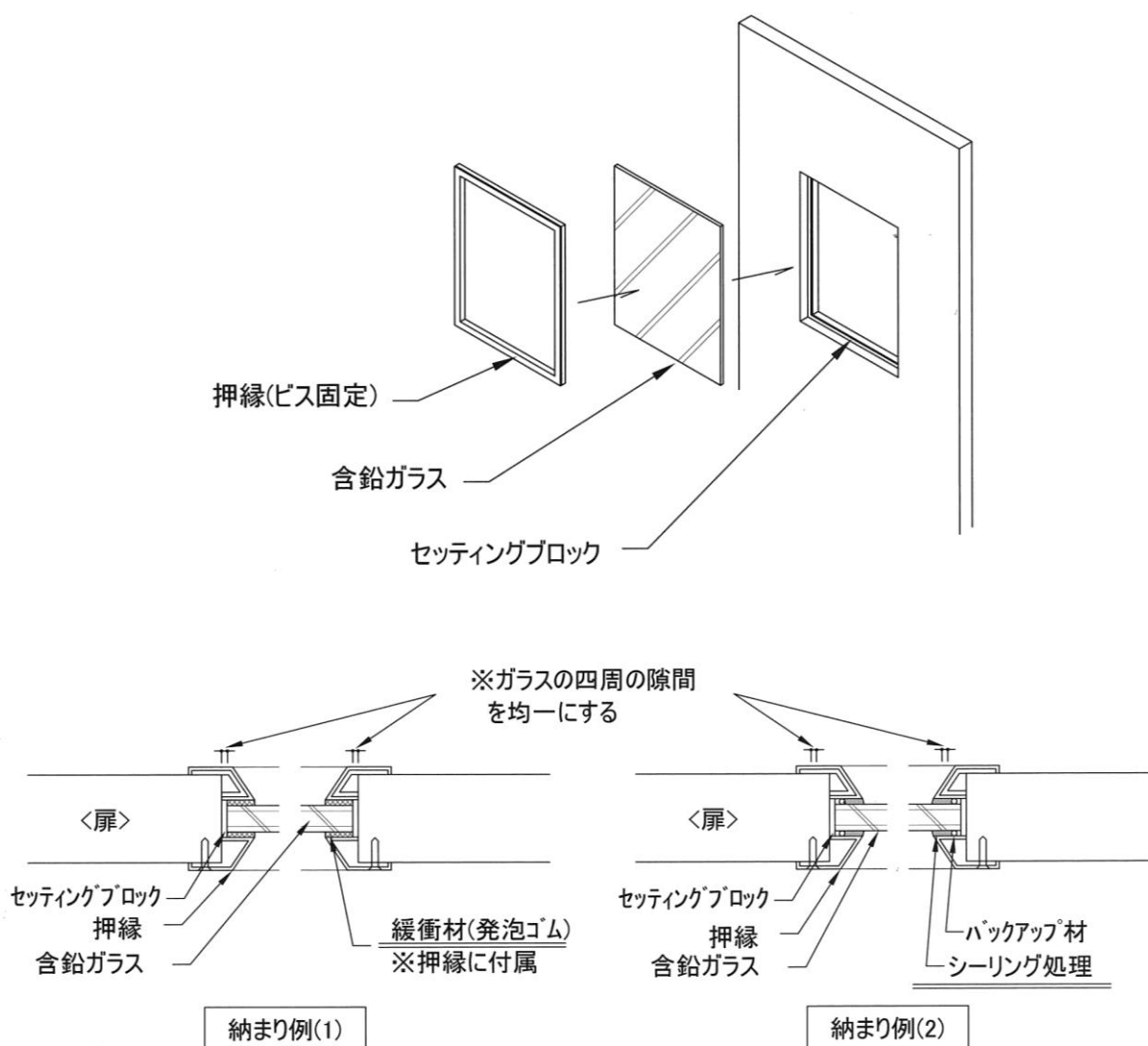
※含鉛ガラスは建具セットに含まれていますが、通常、建具と「別便」で納入しておりますのでご注意下さい。

押縁を固定してあるビスを全て緩めて、片側のみ外します。

含鉛ガラスと扉開口のクリアランスが四周均一になるようにセッティングブロック等で位置決めをし、含鉛ガラスをはめ込んだ後、押縁を再度ビスで取付けて下さい。

※押縁の内側(ガラス側)の四方には緩衝材(発泡ゴム)が付属しています。

※シーリング処理で固定を行う場合は、緩衝材(発泡ゴム)を剥がしてから、バックアップ材＋シーリング処理をおこなってください。シーリング材は一般ガラスに使用するもので構いません。

※セッティングブロック、バックアップ材、シーリング材等は、工事店様で御用意・施工の程お願い致します

2-6 レバーハンドル・ドアクローザーの取付け

レバーハンドル・ドアクローザーの取付けにつきましては、同梱のメーカー取扱説明書をご参照願います

2-7　覗窓：ALW タイプの枠の取付及び含鉛ガラスの取付について

枠は水平・垂直・倒れ・ねじれ等に注意し、溶接またはビス固定にて固定します。

枠取付後、同梱の鉛板をビスで固定し、壁面の鉛複合板と確実に重なり合うことをご確認願います。

※枠の固定方法、周囲鉛板の固定については、概記の ALD タイプの枠の取付をご参考に取付下さい

※覗窓(ALW タイプ)を取り付ける下地開口寸法の目安

・LGS 下地−溶接固定　：下地開口寸法 W または H＝枠外寸法(FW または FH)＋80〜100mm

・木下地−ビス留め固定 ：下地開口寸法 W または H＝枠外寸法(FW または FH)＋60mm

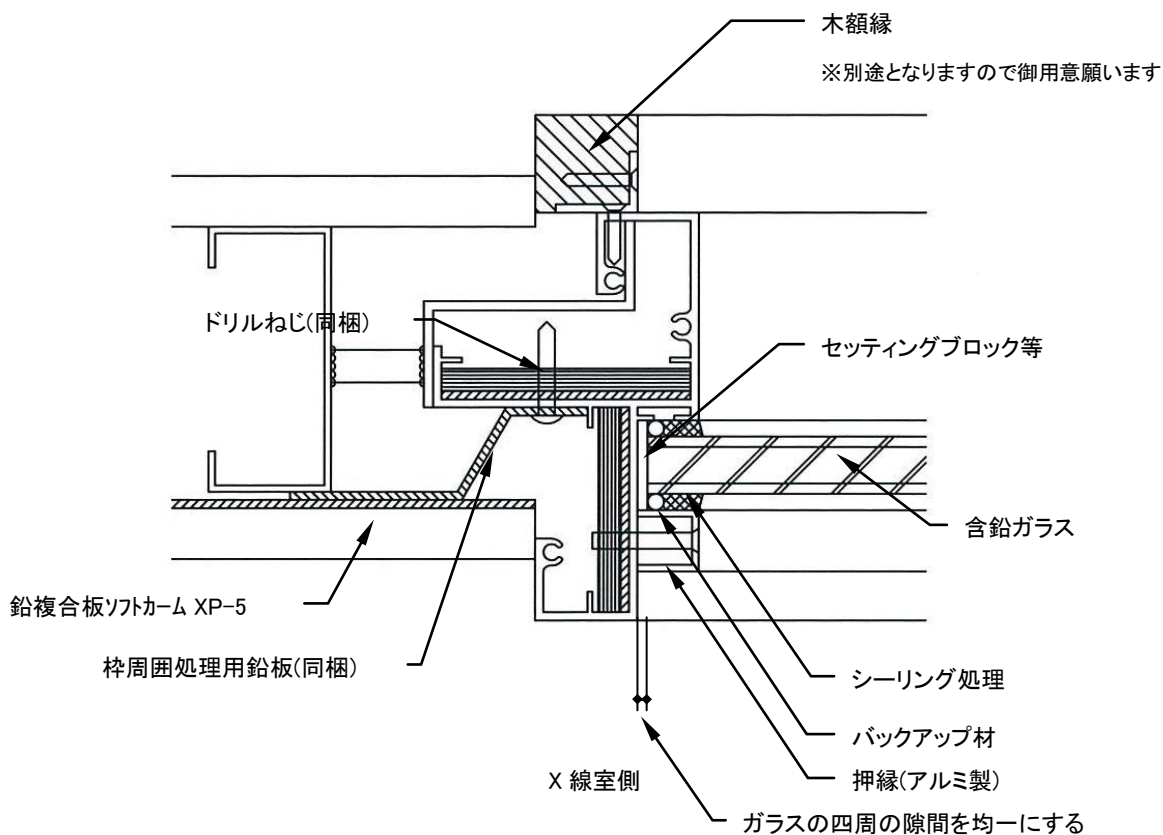
※鉛板の重なりが不十分な場合、漏洩の発生が予想されるため、十分にご確認願います。

含鉛ガラスの厚さ(　※積層品(LX ﾌﾟﾚﾐｱﾑ)の場合 ： 鉛 1.5mm 当量→ガラス厚 t=12mm、鉛 2.0mm 当量→ガラス厚 t=14mm)を確認し、押縁を固定してあるビスを全て緩めて、片側のみ外します。

含鉛ガラスと枠のｸﾘｱﾗﾝｽが四周均一になるようにセッティングブロック等で位置決めをし、含鉛ガラスをはめ込んだ後、押縁を再度ビスで取付けて下さい。

四方にバックアップ材を入れ、シーリング処理をおこなってください。シーリング材は一般ガラスに使用するもので構いません。

※セッティングブロック、バックアップ材、シーリング材等は、工事店様で御用意・施工の程お願い致します

※含鉛ガラスは建具セットに含まれていますが、通常、建具と「別便」で納入しておりますのでご注意下さい。

※X 線室側がアルミ枠(押縁側)の場合

### ③その他

〇建具の設置位置、保管等にご注意下さい。
※表面材が合板で構成された建具である為、使用条件によって扉に反り発生や剥がれ等の原因となる可能性があります。
このような現象を出来るだけ抑えるため、下記のような設置・保管・加工等はあらかじめ避ける等、ご注意・ご確認下さい。

・温度差の激しい場所への設置や保管 （直射日光の当たる場所や、エアコン・暖房器具等の風が当たる場所、室内外で温度差の激しい場所など）
・湿度の大きい場所への設置や保管
・特注寸法にて製作した場合(特に標準規格寸法以上もの)

〇風の強い場所などへの設置は、重量のある扉のため、急激な開閉やあおられた場合に非常に危険です。必要に応じて戸当り等を手配・御取付け願います。(製品には含まれておりません)

●商品改良のため、使用及び外観等は予告無しに変更することがありますので、ご了承下さい。
●鉛板等は、リサイクル処理または産業廃棄物として適法に処理願います

お問い合わせ

東邦亜鉛株式会社 ソフトカーム事業部
●東京本社
〒103-8437 東京都中央区日本橋本町 1-6-1
TEL:03-3272-5625 FAX:03-3271-0109
●大阪支店
〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-3-13
TEL:06-6443-7555 FAX:06-6443-4440

2012.12-500(N)